期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	—	—
	資産見返運営費交付金	—	
	資本剰余金	—	
	計	—	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	6,281,375,091	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②当該業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：6,218,190,110（業務費：4,933,483,865、一般管理費：1,277,839,895、その他：6,866,350） イ）リース債務の減少に係る計上額：63,152,551 ウ）預託金（自動車リサイクル料）に係る計上額：32,430 エ）固定資産等の取得額：1,420,773,263（家畜仮勘定1,254,955,371、建物22,335,218、構築物7,870,843、機械及び装置57,983,700、車両運搬具12,442,065、工具器具備品29,061,377、ソフトウェア4,336,500、建設仮勘定2,143,050、棚卸資産（種子）29,645,139）
	資産見返運営費交付金	1,420,773,263	
	資本剰余金	—	
	計	7,702,148,354	
合計		7,702,148,354	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

（単位：円）

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
19年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	162,319,075	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：162,319,075） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	162,319,075	
20年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	—	—（業務達成基準を採用した業務は無い）
	期間進行基準を採用した業務に係る分	—	—（期間進行基準を採用した業務は無い）
	費用進行基準を採用した業務に係る分	369,363,646	①費用進行基準を採用した業務：全ての業務 ②運営費交付金債務残高の明細（人件費残：299,866,969、契約済翌年度繰越額：61,492,240、前払費用：5,455,017、長期前払費用：1,787,430、棚卸資産（貯蔵品）：761,990） ③翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高は、翌事業年度において収益化する予定であります。
	計	369,363,646	